

番外編：格安SIMとの奮闘

2014-8-16

京都市 福原浩一

今年の夏はまことに異常気象じゃないかと思います。せっかく予定していた登山も台風襲来で中止せざるを得ませんでした。週末の夜空はほとんど晴れず、星が恋しいですね。

そんなことで、今回は皆さんにも役立つかもしれない、携帯電話代金を大幅に節約する“格安SIM”を導入するために奮闘したことを紹介します。

きっかけは帰宅途中に時間が余っていて、とある中古携帯屋に寄ったことから始まりました。なぜ中古の携帯を売っているのか店員に尋ねたところ「最近では中古携帯に格安SIMを差して携帯代を節約したい人が良く買う」との一言。何それ～って感じ。帰宅しインターネットで調べてみると、確かに携帯代を節約する格安SIMの紹介記事があるある。

我が家は、3人がソフトバンクの携帯を使っていてそれなりにお得ですが、毎月2万円くらい携帯代を支払っている。格安SIMは、データ利用(インターネット検索/メールや動画再生などで使う)に毎月上限がありそれを超えないかぎり基本料金で済みそう。通話料は別途掛かるが、少々電話を掛ける人でも、毎月2,000円以内に収まるみたい。仮に月6,000円使っていたとすれば、毎月4,000円の節約になる。

これはお得、ぜひ乗り換えよう！長女は電話の使用量が少なくまだiPhone4で古いこともあり、これを中古の上位機種に買い替えて格安SIMを導入することにしました。

善は急げのことわざ通り、インターネットから情報を収集してみた。いくつか良さそうなSIM会社を発見。

<格安SIMの提供会社>

SIM会社(MVNOと呼ぶ)	価格(月)	利用条件	キャリア
IIJmio ライトスタートプラン	1,740円	データ1GB、通話別途、SMSあり	ドコモ
Hi-ho ミニマムスタート	1,693円	データ1GB、通話別途、SMSあり	ドコモ
mineo デュアルタイプ1GB	1,590円	データ1GB、通話別途、SMSあり	au
スマホ電話SIM(日本通信)	1,560円	データ1GB、通話別途、SMSあり	ドコモ

SIMサイズには“Micro”と“Nano”があり、携帯に合わせてどちらか指定して購入する。インターネットや大型電気量販店で申し込みが可能。簡単に手に入るが実は“SIMロック”が問題。これは携帯が自社のSIMしか受け付けないようにしている仕組み。これを解除しないと格安SIMは使えないみたい、ところがそれを回避するSIM下駄が販売されていて、格安SIM導入にはそれを一緒に買う必要がありました。



そんな知識を得て、さっそく中古屋に寄ったら、iPhone4S が買えそうな値段で出ていたのでさっそく交渉開始。店員に下駄で使えるか聞いてみると、下駄が無くても“同じキャリアなら使えるよ”との返事。例えばドコモの中古携帯なら、MVNOのうちキャリアがドコモのSIMなら動作するとの意味でした。そうかと思い、auのiPhone4Sを1.5万円で購入し帰宅してインターネットから“Micro”のmineoデュアルタイプ1GBを契約。待つこと約1週間、送られてきたSIMを4Sに差して電源ON.すると“このSIMはつかえません”の表示が出てエラー。どういっこっちゃ！冷や汗タラリ。何度やってもダメなので、mineoのサイトで対象機種を調べたところ、なんとiPhone5s/5c 対応と書かれていた。さらにLTE専用との記載もあり、4Sでは使えなかったのです。

しかたなく解約しようとしてmineoに電話したら“1年契約”しているので解約金9,500円かかるとの返事。皆さん、どんな物でも買うときは契約を良く読んでくださいね。

抜き差しならぬ状況なので使えるまでとことんやろうと、比較的安いiPhone5cを検索、ようやく2.9万円の品物を見つけ4Sを下取りにして購入。これでようやく使えると帰宅。ところが5CのSIMは“Nano”でした。またまた追加でSIM変更代3,000円を支払い、やっと格安SIMを5Cに導入、ようやく動作して通話可能になりました。

格安SIMを検討している方は、①SIMロックの回避 ②使える機種を買う

この2点に十分注意してください。

